

きよしもん 鋸歯文の起源と変遷

鋸歯文とは鋸の歯のように連続する三角形の文様です。御廟山古墳の圀形埴輪にも見られます。鋸歯文は古代から現代まで身の回りのものに見られる伝統的な文様です。
メモ) 鉄本 2020.11.10

1. 起源

鋸歯文は蛇を象徴化した辟邪の文様です。蛇は収穫物に害をなす野鼠を捕食することから、悪なる敵を倒すものの象徴です。ここから辟邪の観念、死者を悪霊から守る、装着者を守護するという信仰が生まれ、蛇の鱗を抽象化した鋸歯文様が古来より身の回りのものに取り入れられています。

2. 様々な文物に現れる鋸歯文



御廟山古墳の圀形埴輪



今城塚古墳の柵形埴輪



袈裟襴文銅鐸 (伝讃岐国出土 国宝)



江田船山古墳獣帯鏡



装飾古墳 田代太田古墳 (鳥栖市)



仮名手本忠臣蔵装束



歌舞伎衣装



住吉大社本殿の囲い